

中長期経営計画(2020-2029)

学校法人 大阪成蹊学園

I. 中長期経営計画

大阪成蹊学園では、2020（令和2）年度から2029（令和11）年度にかけての中長期にわたる経営計画を明らかにするものとして、「大阪成蹊学園 中長期経営計画（2020-2029）」を策定しています。10のアクションプランを柱として、建学の精神「桃李不言下自成蹊」を体現する「人間力」のある人材の育成を目的とする全学的な教育改革と、安定的な法人・学校運営を可能にする経営基盤・ガバナンスの改革に取り組み、教育研究活動と経営ガバナンスを多様なステークホルダーから信頼され、評価される学園をめざします。法人及び学園各校、各部門における各年度の事業計画の策定、日常の業務遂行におけるエビデンスベースのPDCAサイクルの徹底、自己点検・評価活動等を通じて、本中長期経営計画の実現を図ります。

○ 学校法人大阪成蹊学園 中長期経営計画における10のアクションプラン

1. 大阪成蹊学園の教育目標の達成 「人間力」教育の確立

- (1) 建学の精神「桃李不言下自成蹊」及び行動指針「忠恕」を体現する「人間力」のある人材を育成するための教育体系の充実
- (2) 学園各校及び各学部等のディプロマ・ポリシーに掲げる人材を育成する教育体系の充実

2. 明るく、品格があり、活力のある学園風土の醸成

- (1) 学生一人ひとりの品格を磨く「PBM（Personal Brand Management）プロジェクト」の展開
- (2) 教職員一人ひとりが高い「志」と「使命感」を持ち、教育研究活動・学園運営に従事する組織文化の形成（FD・SD）

3. 選ばれる学校であり続けるための成長戦略・将来構想の実現

- (1) 大学、短期大学、高等学校の多様な学生・生徒が学び合うキャンパスへの再編
- (2) 新学部・学科等の開設、既設学部・学科等の発展的改組による学びの充実

4. 少子化・進学トレンドに対応した戦略的學生募集・入試制度の改革

- (1) 志願者数を増やし、入学者を安定的に確保する募集広報活動の展開
- (2) 高校生の学習ニーズに応える多様な高大連携事業の展開
- (3) 多面的・総合的評価を実現する入試方法の改革
- (4) 学園及び学園各校のブランド力を高める戦略的広報の展開

5. 持続的発展を続けるための経営力の強化・財務基盤の整備

- (1) 学園各校の持続的発展を支える安定的な財務基盤の確立
- (2) ガバナンス・コードに基づいた適正な学園運営
- (3) 理事会、評議員会等の適正な運営による経営機能の強化
- (4) 各ステークホルダーに対する経営・教学情報の適切な公開

(5) 遊休資産の売却、活用

6. 教育の質を保証し、特色ある教育を展開する全学的な教学改革の推進

- (1) 大阪成蹊学園教学改革 FSD 会議及び各プロジェクトを中心とした全学的な教学改革体制の確立
- (2) 「大阪成蹊 LCD (Literacy : 知識、Competency : 行動特性、Dignity : 品格) 教育プログラム」を核とする全学的な「人間力」教育の展開
- (3) エビデンス・教学 IR 情報に基づく検証・改善サイクルの徹底
- (4) 総長、学長のリーダーシップ及び、副学長・学部長等、本部長・部長等の中間職による組織運営の強化
- (5) 定期的な自己点検・評価活動の実施
- (6) 運営諮問会議や学生評価員等による多角的な点検・評価活動の充実

7. 学生・生徒一人ひとりの成長を後押しする教職協働型の学修支援体制の構築

- (1) 個々の学修状況や学生生活状況等のきめ細かな把握と、教職協働による指導・支援の充実
- (2) 免許・資格取得等に向けたサポート体制の充実
- (3) 教員・保育士等採用試験合格に向けたサポート体制の充実

8. 学生一人ひとりのめざすキャリアを実現する教職協働型の就職支援体制の構築

- (1) 就職率、就職希望率を更に高める包括的な就活サポートプログラムの確立
- (2) 個々の就職活動状況のきめ細かな把握と、教職協働による指導・支援の充実
- (3) 学びの専門性を活かした業種・業態への就職の強化
- (4) 学びとキャリアを接続し、成長・変化を見える化するインターンシップ制度の確立

9. 世界の多様な人々との関わりのなかでグローバル・マインドを育む国際交流プログラムの充実

- (1) 正課内外の学修が連関する語学・グローバル教育プログラムの確立
- (2) 留学制度の更なる充実と留学者の派遣・受入の強化
- (3) グローバル・アクティブラーニングプログラムの充実
- (4) 協定校の拡大と国際交流プログラムの充実

10. 地域における「知」と「人」の拠点を形成する産官学連携・研究活動・地域貢献活動の活性化

- (1) 企業や自治体等との連携による課題解決型の教育プログラムの充実
- (2) 各教員、教育研究組織等における研究活動の活性化
- (3) 公開講座の開講等による地域及び社会貢献事業の活性化

II. 将来構想

大阪成蹊学園は、卒業生の多大な支援のもと、創立 88 周年を迎えました。Society5.0 等の大きな社会変化の到来とともに、学校教育の在り方も大きく変化しなくてはいけない時期が到来しています。

大阪成蹊学園の教職員一同は、未来を担う人材の養成に向け、様々な改革ができることに大きなやりがいを感じ、入学者が更に増え、学生・生徒が成長していくことを楽しみにしています。

創立 90 周年に向け、大阪成蹊学園が新たに構想し、実現に向けて準備を進めている将来計画を以下のとおり示します。

1. 阪急京都線「相川駅」前に土地を確保し、8 階建ての新校舎（総床面積約 9,500 m²）を建設
2. 50 年以上の観光教育の伝統と実績を活かし、世界に視野を広げた観光・グローバル人材を養成する国際観光学部（仮称）の開設
3. 併設の大阪成蹊女子高等学校の生徒や保護者から開設を強く望まれている看護学部（仮称）の開設
4. Society5.0 などの到来に伴い人材ニーズが高まっているデータサイエンス分野の最先端の教育を行うデータサイエンス学部（仮称）の開設
5. 今後予測される社会の変化を見据えて、社会科学や心理学などを学ぶことのできる社会学部（仮称）の開設
6. 約 500 人を収容でき、オーケストラによる演奏会や各種シンポジウムの開催も可能な多目的ホール（蹊友会こみちホール）の建設
7. 新キャンパスは、10 年間で整備する

【中長期経営計画】

1. 教育活動収支計算書

(単位：百万円)

費目/年度	2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度		2026(R8)年度		2027(R9)年度		2028(R10)年度		2029(R11)年度	
	決算	前年比	当初予算見直し	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
教育活動収入	9,866	779	9,859	▲ 7	10,047	188	10,496	449	10,903	407	11,279	376	11,650	371	11,778	128	11,848	70	11,840	▲ 8
教育活動支出	9,175	749	9,485	310	9,715	230	10,367	652	10,575	208	10,749	174	10,823	74	10,753	▲ 70	10,725	▲ 28	10,719	▲ 6
教育活動収支差額	691	31	374	▲ 317	332	▲ 42	129	▲ 203	328	199	530	202	827	297	1,025	198	1,123	98	1,120	▲ 3
経常収支差額	647	33	339	▲ 308	300	▲ 39	100	▲ 200	300	200	500	200	800	300	1,000	200	1,100	100	1,100	0